

2011 年度 中央大学特定課題研究費 一研究報告書一

所属	文学部	身分	教授
氏名	妹尾 達彦		
NAME	Seo, Tatushiko		

1. 研究課題

(和文) 世界史における中国都市の歴史的特色

(英文) Historical Figures of Chinese Cities from the Global Perspective

2. 研究期間

2年間

3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度）

(和文)

中国の都市史を世界史の中に位置づけることは、近年における中国史研究の重要な課題の一つである。この課題について2年間の考察を続け、以下のような結論を得た。

(1)中国都市史は、世界の都市史の中の例外ではなく、ユーラシア西部や中央部の都市史と連動し同じような構造をもつ。かつて、マックス・ウェーバーをはじめとする西欧の研究者がとなえた東洋における都市自治の欠如や都市概念の希薄さといった考えは、中国都市史やアジア都市史研究の進展によって否定されたといつてよい。要するに、世界の都市史には一定の構造があり、基本的に類似の歴史的展開をもっている。

(2)にもかかわらず、中国都市史には、他の地域に見られない特色もある。それは、中国独自の皇帝制度の存在と密接にかかわる。中国都市史は、行政都市網の歴史でもある。それは、中国都市が皇帝制度の中で機能したことを意味している。広大で複雑な自然環境を統治した中国大陸の歴代王朝は、皇帝の居住する都城を核とする行政都市網によって統治を維持した。中国都市は、この行政都市網を核に進展し、都市としての公私の機能をはたした。西欧都市史と比較した際に、最も異なるのが、この行政都市網の広がりや整備の度合いである。

(英文)

“Historical Figures of Chinese Cities from the Global Perspective” is one of most exciting topics in the world history in recent years. China has been a cultural and political unit over three thousand years. Understanding China is an essential theme for every person today and the urban history is a key of understanding China. My research project is to analyze the historical figures of Chinese cities for getting knowledge of modern China.

4. おもな発表論文等（予定を含む）

<b>【学術論文】</b> （著者名、論文題目、誌名、査読の有無、巻号、頁、発行年月）
妹尾達彦「東亜都城時代の誕生」杜文玉主編『唐史論叢』14、西安、2012年、296-311頁〔査読有〕
同「洛陽学の可能性」『洛陽学国際シンポジウム』明治大学大学院文学研究科、2011〔査読無〕
同「都城の時代の誕生」『歴博』167、国立歴史民俗博物館、2011年、2-7頁〔査読有〕
同「隋唐長安城与東亜洲的国際関係」『復旦大學中古中國研究前沿講演録』上海、待刊〔査読無〕
同「江南文化の系譜」『六朝學術學會報』第13集、待刊〔査読無〕
<b>【学会発表】</b> （発表者名、発表題目、学会名、開催地、開催年月）
妹尾達彦「都城時代の誕生」中日学術会議 西安・西北政法大学長安校舎、2011年6月17日
同「隋唐長安城与郊外社会的誕生」中日学者中国古代史論壇 武漢大学 2011年9月18日
同「隋唐關中平原與灌溉設施」台湾・政治大學歷史學系、2012年1月4日
同「中國古代城市文明與禮儀空間」台灣師範大學歷史學系、2012年1月5日
同「漢與唐—漢長安故城與隋唐長安城—」臺灣大學歷史學系、2012年1月10日
<b>【図 書】</b> （著者名、出版社名、書名、刊行年）
妹尾達彦『長安的都市規劃』高兵兵訳、西安・三秦出版社、2012年、1-266頁
同『北京：農業と遊牧の交わる都』刀水書房、2013年刊行予定
同『隋唐長安の都市社会誌』汲古書院、2013年刊行予定
同『東アジア海域に漕ぎ出す 第6巻』東京大学出版会、2013年刊行予定（共著）
同編『岩波 世界史人名辞典』岩波書店、2013年刊行予定（共編）
<b>【その他】</b> （知的財産権、ニュースリリース等）